企業・団体名（　株式会社メイクワン　長野工場　　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	･年齢･性別･障害･国籍など、あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	･就業規則に委任規定を設け、ハラスメントの防止規定を定めており、相談窓口を設置している。 ･風通しの良い環境を整え、普段からコミュケーションの活性化を図っている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	･36協定の順守と徹底 ･長時間労働防止の為、時間外労働･休日労働をする際は、上司の許可を必要にするなど時間管理を徹底している。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】現状外国人労働者はいないが、今後外国人労働者雇用を採用する際 労働条件･職務内容等日本人労働者との差別は一切ない				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	･通路が十分確保されているか等の安全パトロールを実施している ･衛生的な環境で作業ができるよう毎朝全員で清掃を行っている 【予定】パトロールの項目を再確認し、記録を残す			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	･定期的に上司との面談を実施する機会を設けており、従業員の業務負荷および体調を把握するようにしている			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	･女性や障害者も活躍できる柔軟な労働条件を設定している ･シルバー人材センターと契約し高齢者の派遣を積極的に受け入れている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･必要に応じて外部のセミナーに参加させている ･海外との取引がある為、希望者にオンラインの英会話を受講させている				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	･パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備･対応を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	･定期健診を正社員･パートすべての労働者へ実施している			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	･端材を極力出さないような（材料のアクリル）寸法取りをしている。 ･ISO14001を取得している産業廃棄物処理業者に処理を依頼している 【予定】端材買取り業者への販売とリユースを検討中											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	･電気使用量を把握し、どの装置にどれくらい電気使用量が発生しているか確認している 【予定】温室排気ガス排出量を減らす為、省エネ実施予定							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】温室効果ガスの排出量を記録し、削減に向けて目標を立てる							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	･ガラスを磨くのに少量のアセトンを使用しているが、各作業場ごとに作業環境測定を行った際に、第1管理区分と評価されている 【予定】今後も使用量を抑制し適切な使用に取り組む			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	･環境に優しい材料を使用することを意識しており、生態系に悪影響が及ばないよう配慮している						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	･社内で使用する印刷物は裏紙を使用している。 ･資源ごみを分別し、リサイクルに取り組んでいる 【予定】アクリルの端材をリユースする計画を策定している												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ							6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	･現時点で取得の予定はない。 ISO14001･エコアクション21についてセミナーへの参加はしており、今後も続ける			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後環境への取り組みをホームページ上で公開予定												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】工場増設の際にソーラーパネルの設置を検討している							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･お客様に信頼される企業をめざしており、汚職･増収賄禁止等を含む方針を社員に周知している																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	･お客様に信頼される企業をめざしており、不正競争行為に関与しないことを社員に周知している																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･特許･商標等知的財産権の取得･管理をしている ･就業規則に知的財産権について明記している								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･個人情報保護方針を定め、社内研修を行っている 【予定】ISO27001の取得を検討中																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･環境に配慮した鉛を含まない透明度の高いクリスタルガラスを使用している。 ･アクリルのレーザ機による切断では、面取り部分が危険にならないような加工を行っている。 ･取扱説明書を作成し、製品に添付している			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･顧客からの意見や要望を社内で共有 ･一つずつ丁寧に製作するよう社内教育に力を入れている									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	･環境に配慮した鉛を含まない透明度の高いクリスタルガラスを使用している。鉛を含んだガラスは、製造過程及び廃棄段階で環境汚染につながります。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	･社会課題を解決する製品の開発に取り組んでおり コロナ渦では、いち早く感染防止グッズの製品開発を行い製品化に成功 ･その他にもエコ材を使用した製品の開発にも力を入れている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域行事への積極的な参加、長野県へのU･Iターン転職セミナー等にも参加し地域の活性化に努めている ・県内の関連企業・商工会・近隣の方とのコミュニケーションを大切にしている				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の商工会活動に参加している。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ									8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念･経営目標を社員に説明し目標を共有している ・社員がそれぞれ目標を制定し、半年に一度自己評価をすることで、経営目標を再認識し達成に向けて努力している								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・経営者が常にコンプライアンスの重要性を従業員に伝え、お客様の期待に応えるという意識が根付くよう徹底している																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】総務･管理部が担当しているが、今後責任者を決め、体制を整備していく																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	顧客や協力会社と直接会話をし、要求や不満な点などをまとめ社内で共有し、よりよい製品よりよいサービスの提供に努めている																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																	16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																	16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	非常事態対応のフローを作成しているが、十分ではないので、今後はBCPの策定を検討したい									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）